

令和6年度学島小学校評価アンケート【保護者】分析

84人中 72人回答 回答率 85.7% 20項目

肯定群「とてもそう思う」「だいたいそう思う」の割合が高い 5項目

問6	子どもが、地域の歴史や自然・文化の学習をするのは大切であると考えている。	97.2%
問17	学校は、健やかな体を育むことに努めている。	95.8%
問19	学校は、保護者や子どもが相談しやすい環境づくりに努めている。	95.8%
問20	学校は、学校便りやホームページ・メールを充実させ、保護者や地域に情報提供している。	95.8%
問7	私の子どもは、楽しんで学校に通っている。	94.4%

肯定群「とてもそう思う」「だいたいそう思う」の割合が低い 5項目

問2	PTA活動やボランティア活動にできるだけ参加している。	45.8%
問14	私の子どもは、スマホやゲームを使うときに家庭で決めたルールを守ることができている。	61.1%
問13	私の子どもは、家庭学習をする習慣がついている。	66.7%
問11	私の子どもは、自分の考えをうまく伝えることができている。	66.7%
問4	子どもが徒歩で登校することを大切にしている。	68.1%

【考察】

問6「子どもが、地域の歴史や自然・文化の学習をするのは大切であると考えている。」97.2%

昨年度同様、ほとんどの保護者は地域についての学習は大切であると考えているが、肯定的な回答をした児童は77%となっています。子どもたちが、地域の中で温かく見守られながら成長していることが実感できるような機会を、取り入れていきたいと考えます。

問17「学校は、健やかな体を育むことに努めている。」95.8%

体育委員会を中心に実施した「外で遊ぼうウィーク」により、児童の外で遊ぼうとする意識が高まったと考えます。また、市・県の水泳能力検定会や陸上運動記録、体操発表会に出場したりする中で、特に4年生以上の児童は目標を持って放課後の活動に取り組むことができました。

朝の持久走の練習に全校で取り組むなど、運動が苦手な児童にとっても、運動する機会の確保と意識付けができたと考えます。また、できるようになった喜びや達成感を味わえたことで、運動することへのきっかけや意欲につながっています。今後も教育活動を通して、体力向上を目指して取り組んでいきたいと思います。

問19「学校は、保護者や子どもが相談しやすい環境づくりに努めている。」95.8%

昨年度より、2.6ポイント増加しています。しかし、児童の「困ったことがあったら学校の先生や家族、友だちに相談できる。」の肯定群は80.7%に止まっています。今後も、学校が、子どもたちはもとより保護者のみなさまの相談にもしっかりと寄り添えるように努めてまいります。

問20「学校は、学校便りやホームページ・メールを充実させ、保護者や地域に情報提供している。」 95.8%

肯定的な回答の割合は、毎年増加しています。各学年が、子どもたちの様子を学年便りとして発信したり、マチコミメールを活用して様々な情報提供を行っています。今後ホームページなどを充実させ、保護者や地域のみなさまに情報を発信していきたいと考えます。

問7「私の子どもは、楽しんで学校に通っている。」 94.4%

昨年度同様、9割以上が肯定的な回答ですが、児童の「学校に行くのは楽しい」の肯定群は82%となっています。学校は、お子さんが安心して安全に過ごすことのできる場所であるべきです。一人一人の子どもに寄り添った指導に努め、安心・安全な学校運営に努めてまいります。

問2「PTA活動やボランティア活動にできるだけ参加している。」 45.8%

他の項目に比べて低い値になっていますが、学校行事後の片付けや愛校作業等に、たくさんの保護者の方がご協力いただいていることに感謝申し上げます。お仕事等の事情により参加できない場合もあるかと思いますが、引き続き、無理のない範囲でのPTA活動等へのご協力をよろしくお願いいたします。

問14「私の子どもは、スマホやゲームを使うときに家庭で決めたルールを守ることができている。」 61.1%

肯定的な回答が、昨年度より4ポイント減少しています。しかし、児童の問14「スマホやコンピュータでSNSやゲームなどをしたり動画を見たりするとき、家族と約束したことを守っている。」については81.9%の肯定的な回答があります。インターネットモラルについての出前授業を行うなど、学校では、あらゆる場面や機会を通じて、ネット上に潜む危険から自分自身を守るスキルを向上させるための指導を継続していきます。ご家庭でも、今一度ルールを見直すなど、ネットとの正しい付き合い方についてお子様と話し合う機会を設けていただければと思います。

また、問10「早寝・早起き・朝ごはんの習慣が身についている。」の項目についても昨年度より減少しており、2項目間の関連も考えられます。生活習慣が崩れると、心身の健康に悪影響を与えることもあります。生活習慣について、自分事として捉えられる機会を設けるなどし、自ら生活を改善しようとする意欲を育てたいと思います。

問13「私の子どもは、家庭学習をする習慣がついている。」 66.7%

前々年度、前年度と比較すると、少しずつ減少しています。しかし、児童の肯定的な回答は少しずつ増加していることから、保護者の方と児童との家庭学習に対する意識に差が生じているのかもしれませんが、「家庭学習のてびき」や、「勉強がんばろうウィーク」を活用し、児童が自主的に家庭学習に取り組もうとする意欲を高められるよう、支援していきたいと考えます。

問11「私の子どもは、自分の考えをうまく伝えることができている。」 66.7%

自分の考えを相手に伝えるためには、語彙を増やしたりや表現の仕方を身に付けたりすることが必要です。児童の、問19「できるだけ本や新聞を読むようにしている。」の肯定

群の低さからもうかがえるように、様々な文章に触れる機会が少ないことも要因の一つとして考えられます。新聞や読書に親しむ機会を増やせるよう、今後も工夫していきたいと思えます。

問4「子どもが徒歩で登校することを大切にしている。」 68.1%

できるだけ徒歩で通学することは、体力の向上だけでなく、地域の方に子どもたちの存在を知ってもらい、防犯効果を高めることにもつながると考えられます。警察の方から、「大きな声での挨拶には防犯効果がある」というお話もうかがっているので、地域とのつながりや日々の防犯意識、交通安全意識を高められるよう努めてまいります。